

2010 年度

2011 年 3 月 29 日

会報「JWCS 通信」第 62 号発行

2011 年 3 月 20 日


生物多様性条約締約国会議 COP10(名古屋)にて行ったアンケートの結果がまとまりました。

アンケートでは、生物多様性を保全するために、どのような方法で消費行動を変えることがよいかを質問しました。アンケートの簡易版は JWCS ホームページの「あなたの意見」のページでも行いました。

・[JWCS の環境政策提言\(2011 年\)](#) 

・[消費行動と生物多様性のイメージ](#) 

2011 年 3 月 17 日

[「復興支援・住宅エコポイント」](#)のポイント取得者から 3,526 円ご寄付いただきました。

2011 年 3 月 7 日

セミナー「本当は怖いエキゾチックペットの話」 東京・丸の内さえずり館

2011 年 2 月 8 日

NGO/NPO・企業環境政策提言を提出

2010 年 12 月 18 日

立教大学「自然保護最前線」ゲスト講師


2010 年 10 月 18～29 日

生物多様性条約締約国会議 COP10(名古屋)に参加 交流フェアでブース出展

2010 年 9 月 17 日

テレビ東京「ニッポンのミカタ」に森川順理事が出演して捕鯨問題についてコメント

2010 年 9 月 16 日

[「復興支援・住宅エコポイント」](#)のポイント取得者から 147 円ご寄付いただきました。

2010年9月14日

IUCN 日本委員会の会議に出席

2010年9月3日

野生動物医学会自由集会にて外国産ペット問題について発表

2010年8月31日

コンゴ共和国／ヌアバレ・ンドキ国立公園 研修報告 東京・環境パートナーシッププラザ

2010年7月29日

外国産野生動物ペットの生息地についてボランティア・サザンクロス・ジャパンにヒアリング

2010年7月10日

生物多様性条約カウントダウン 100 フォーラム(生物多様性条約市民ネットワーク主催)に参加

2010年7月5日

外国産野生動物ペットの生息地について FoE Japan にヒアリング

2010年6月10日

会報「JWCS 通信」第 61 号発行

2010年5月23日

理事会、総会、総会シンポジウム 生物多様性カフェを開催 東京・JICA 地球ひろば

2010年4月26日

生物多様性市民ネットワーク勉強会参加

2010年4月25日

東北大学石井淳准教授訪問。海洋生態系保全についてヒアリング

2010年4月22日

トラフィックイーストアジアジャパン訪問。象牙国際取引の状況についてヒアリング

IUCN 日本委員会総会参加

2010年4月16日

「第 15 回ワシントン条約締約国会議の結果と今後の展望」(主催:財団法人自然資源保全協会)参加

2010年4月8日

環境省・経済産業省訪問。象牙国内流通管理制度についてヒアリング

2010年4月2日

ワシントン条約(CITES)CoP15 報告会を開催 東京・環境パートナーシッププラザ

CITES-CoP15 では、大西洋クロマグロや象牙取引、ホッキョクグマ、最近ペットとして人気の高いカイザーツエイモリなど日本と深く関わりがある多くの動植物について議論されました。

会議の様子の報告に加え、にワシントン条約の解説、現地で配布された資料展示、たくさん撮影した写真も公開しました。

日時:2010年4月2日(金)19:00-20:30

場所:地球環境パートナーシップオフィス(表参道)

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B2F

参加費:無料

【報告内容】

1. ワシントン条約の概要と JWCS の参加目的

(JWCS 事務局:塚田景子)

会議ってどのように進むのか?ロビー活動ってどうなの?

2. クロマグロ・サメなど、増え続ける海洋生物の評価

(石井敦氏)

クロマグロやサメって何が問題なの?

3. 中央アフリカの密猟の実態。狙われるマルミミゾウ

(WCSコンゴ:西原智昭氏)

現地で一番白熱した話題。ゾウの生息地で何が起きているのか?

4. CITES COP15 の NGO ポジション

(JWCS 理事 東京農業大学農学部教授:安藤元一)

NGOって国際会議でどの程度の役割を果たすことができるのか?

5. 質疑応答

どんな些細な疑問質問でもできる限りお答えします!

6. ワシントン条約の未来、生物多様性条約への提言

(JWCS 会長:小原秀雄)